

租税教育実践レポート

わたしたちのくらしと税金の関わり

登米市立加賀野小学校教諭 6学年 高橋 雄磨

実施年月日：令和 7年 4月 25日 42名

1 実践計画・指導のねらい

児童の多くは、「税金」という言葉や税金は納めなくてはいけないということは知っているものの、「消費税」以外の税の種類や税金の使われ方などを理解している児童は少ない。そこで、社会科の学習「国の政治のしくみと選挙」「子育て支援の願いを実現する政治」やゲストティーチャーによる「租税教室」を通して、税金の働きや使われ方について理解し、税金と私たちのくらしとの関係や税金の重要性について気付かせていきたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○），こどもたちの反応（●），使用教材等（□）
1	選挙のしくみや税金の使い方について調べる。	○選挙について知っていることを発表しましょう。 ●18歳からできる。 ●議員を選ぶ。 ○税金についてどんなことを知っていますか。 ●消費税がある。 ●国民には納税の義務がある。 □教科書（新しい社会 政治・国際編 東京書籍、p24～25）
2	租税教室 （ゲストティーチャー）	○どんな税があるだろうか。 ●消費税、所得税、住民税 ○税金の集め方や使い道はどう決めているのだろうか ●国会で決めている ●公共サービスに使っている
3	公共施設をつくり、運営するための費用について考える。	○あいばれっとの建設や運営にはどのくらいの費用が掛かっているでしょうか。 ●57億円 ●約2億8000万円 ○あいばれっとをつくり、運営するための費用は、どこから出ているのでしょうか ●税金 □教科書（新しい社会 政治・国際編 東京書籍、p42～43）
4	税金について学んだことを 絵葉書に表現する。	○税金について、絵葉書で表しましょう ●税金で作られているものを書こうかな ●税金の大切さを伝える言葉を書こう

【指導のポイント】＜1時間目＞

選挙についてのしくみについて知り、選挙権をもった際に、何をもちに候補者を選ぶのかを考えさせた。また、国民の願いを実現するために税金が使われており、税金にはさまざまな種類があることに気付かせた。

【指導のポイント】＜2時間目＞

ゲストティーチャーによる租税教室を通して、税金に関する基礎的な知識や税金の重要性に気付かせることができた。また、小学校6年間に税金で賄われている金額やクイズを交えながら学習を進めてもらったことで、児童が税金をより身近に感じることができるようになった。

【指導のポイント】＜3時間目＞

公共施設は、市民の願いによって建設されたり、運営されていることに気付かせたりし、その建設や運営にかかる費用には税金が使われていることに気付かせた。

【指導のポイント】＜4時間目＞

「税に関する絵はがきコンクール」に取り組み、税に関する知識や税の大切さを振りかえらせたことで、更に税に関する知識を深めた。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）

◎租税教室を行うことによって、児童が税金の種類や使い道について学んだことによって、その後の授業の理解度が深まった。

◎税に関する絵葉書コンクールに出品する活動に取り組んだことで、学習の最後に振り返りを行い、税に対する意識を高めることができた。

◆消費税など、児童に直接、関係のある税の種類について、ふれることはできたが、その他の税に関する理解を深めたり、興味を高めたりする工夫が必要だった。

◆児童にとって税が使われている身近な登米市の施設や事業を取り上げることで、更に税に関する理解や興味を深めることができたのではないかと考える。